

平成29年度  
(第55回)

# 総 会 議 案

■ 日 時：平成29年5月24日(水)  
午後1時30分～

■ 場 所：伊丹市立総合教育センター

伊丹市文化財保存協会

# 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 来 賓 祝 辞

4. 議 長 選 出

5. 議 事

報告第一号 平成28年度事業報告  
並びに各会計決算報告

報告第二号 平成28年度監査報告

議案第一号 平成29年度事業計画(案)  
並びに各会計予算(案)

6. そ の 他

7. 閉 会



記 念 講 演 会

演 題 「古代畿内に設けられた牧  
～為奈野牧と畦野牧を探る～」

講 師 三重大学名誉教授 考古学 山中 章氏

## 平成28年度 事業報告

年 月 日	活 動 内 容
28. 4. 8 22	平成27年度業務・会計監査（田原裕子監事・益尾宏之監事） 平成28年度第1回役員会（伊丹市立美術館講座室） 議 事 ① 平成27年度事業報告・各会計決算報告 ② 平成27年度業務・会計監査報告 ③ 平成28年度事業計画（案）・各会計予算（案）
5. 20	平成28年度第54回総会（伊丹市立総合教育センター）午後1時30分～ 議 事 ① 平成27年度事業報告並びに各会計決算報告 ② 平成27年度監査報告（監事より報告） ③ 役員改選 ④ 平成28年度事業計画（案）・各会計予算（案） 全議案承認（出席者及び委任状提出者計128名） 総会記念講演会 演 題 「古代寺院の風景—飛鳥・猪名野・出雲—」 講 師 出雲弥生の森博物館 学芸調整官 出雲市市民文化部文化財課 次長 花谷 浩 氏
28	平成28年度伊丹市文化財愛護少年団 入団式 時 間：午前10時～12時 場 所：旧岡田家住宅・酒蔵 参加者：団員39名・指導員他23名 計62名
6. 1	平成28年度「万葉を読む講座」開講 講 師：古代民俗研究所代表 大森 亮尚氏 日 程：6月1日～8月24日 全6回 会 場：いたみホール3階大会議室 受講者25名 【巻十六を読む】 第1回（6月1日）（水）巻十六を読む 第2回（6月15日）（水）巻十六を読む 第3回（6月29日）（水）巻十六を読む 第4回（7月13日）（水）巻十六を読む 第5回（7月27日）（水）巻十六を読む 第6回（8月24日）（水）巻十六を読む

年 月 日	活 動 内 容
28. 6. 16	平成28年度第2回役員会（伊丹市立美術館講座室） 議 事 ①機関誌「絲海」第41号の発行について他報告事項4件 ②伊丹ロマン事業の当協会自主事業の取り組み（「文学碑を 訪ねて」・「リレー講座～絲海学～」）他4件について協議
30	機関誌「絲海」第41号全会員へ発送
7. 2	伊丹市文化財愛護少年団「七夕まつり」 時 間：午前10時～12時 場 所：旧岡田家住宅・酒蔵 参加者：団員33名・指導員他18名 計51名
8. 25	伊丹市文化財愛護少年団「夏季研修旅行」 行 先：赤穂方面 「海浜公園」・「塩づくり体験」・「大石神社」 参加者：団員41名・指導員他9名 計50名
9. 7	「万葉を読む」現地講座「～流され王を追って～」 行 先：淳仁天皇陵・慶野松原・伊弉諾神社・野辺の宮 参加者：34名
28	平成28年度「古代民俗講座」開講 講 師：古代民俗研究所代表 大森 亮尚 氏 日 程：9月28日～10月26日 全5回 会 場：いたみホール3階大会議室 受講者：25名 「人の世のうらおもて」 第1回（9月28日）（水）「今昔物語集」を読む 第2回（10月5日）（水）「今昔物語集」を読む 第3回（10月12日）（水）「今昔物語集」を読む 第4回（10月19日）（水）「宇治拾遺物語」を読む 第5回（10月26日）（水）「宇治拾遺物語」を読む
10. 14	平成28年度第3回役員会（伊丹市立美術館講座室） 議 事 ①万葉を読む現地講座・古代民俗講座の状況等について報告 事項3件 ②伊丹ロマン事業実施（「文学碑を訪ねて」・「リレー講座 ～絲海学～」）当日の役割分担等について協議

年 月 日	活 動 内 容
28. 10. 30	<p>“歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業”  「文学碑を訪ねて～現地講座～」 受講者20名  場 所：昆陽池公園～一带～  ・文学碑13基等を訪ねる</p>
11. 7	<p>平成28年度史跡めぐりバスツアーの実施  行 先：徳島県等方面  「阿波十郎兵衛屋敷」・「ドイツ館」・「蕉寿堂」  参加者：36名</p>
12	<p>“歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業”  「リレー講座～絲海学～」  時 間：午後2時～3時30分  会 場：白雪「長寿蔵」2階ギャラリー（受講者数34名）  テーマ：「口酒井の縄文人せまる  ～兵庫県の縄文時代終末から弥生時代初頭の発掘成果～」  講 師：兵庫県立考古博物館 学習支援課 社会教育推進専門員  深井 明比古 氏</p>
26	<p>平成28年度文化財保護強調月間に伴う「史跡清掃」参加  時 間：午前9時～10時  清掃史跡：伊丹廃寺跡・有岡城跡・御願塚古墳  参加者：326名（各種関係団体の総数）</p>
12. 6	<p>平成28年度第4回役員会（伊丹市立美術館講座室）  議 事 ①伊丹ロマン事業「文学碑を訪ねて」・「史跡めぐりバスツアー」・  「リレー講座～絲海学～」の実施について報告事項4件  ②「第14回ひななざり@伊丹郷町館」・「平成28年度最終役員  会の開催について」等2件について協議</p>
29. 1. 14	<p>伊丹市文化財愛護少年団「文化財愛護カルタ・すごろく大会」開催  時 間：午前9時30分～午後3時  場 所：いたみホール4階大和室  参加者：団員42名・指導者他12名 計54名</p>
2. 4	<p>「第14回ひななざり@伊丹郷町館」開催（2月4日～3月5日）  （主 催）伊丹市文化財保存協会  （共 催）伊丹市立博物館・公益財団法人柿衛文庫  伊丹市文化財愛護少年団</p>

年 月 日	活 動 内 容
29. 2. 4	(行事内容) 明治・大正・昭和のひななごり展示、カルタ・すごろく展示 期間中観覧者 計 6,225 名 (1日平均239人)
2. 14	平成28年度第 5 回役員会 (伊丹市立美術館講座室) 議 事 (報告事項) ①第14回ひななごり@伊丹郷町館の実施状況報告について ②平成28年度会費の収納状況等について他報告 2 件 (協議事項) ①平成29年度総会の実施について ②平成29年度第 1 回役員会の開催について ③機関誌「絲海」第42号の編集内容等について協議事項 3 件
3. 25	伊丹市文化財愛護少年団卒業研修旅行実施 行 先：大阪方面 「大阪城公園」・「難波宮跡公園」・「大阪歴史博物館」他 参加者：団員18名・指導者 8 名 計26名  以 上

報告第一号の2

平成28年度 一般会計決算書

収 入

(単位：円)

項 目	予算額(A)	収入済額(B)	増 減(A-B)	備 考
会 費	630,000	527,000	103,000	特別・普通会員会費
研修活動負担金	1,000,000	784,400	215,600	講座・史跡めぐり 他
補 助 金	3,305,000	3,239,983	65,017	市補助金
委 託 料	2,835,000	2,769,270	65,730	監視・案内業務委託料
寄 付 金	1,000	0	1,000	
繰 入 金	1,000	0	1,000	
繰 越 金	28,382	28,382	0	平成27年度より繰越金
雑 収 入	1,000	31,950	△ 30,950	預金利息 他
合 計	7,801,382	7,380,985	420,397	

## 支 出

(単位：円)

項 目	予算額(A)	支出済額(B)	増 減(A-B)	備 考
事 務 費	6,390,000	6,203,328	186,672	事務関係費合計
報 酬	5,285,000	5,252,620	32,380	職員報酬等
厚 生 費	855,000	756,633	98,367	厚生費事業主負担保険料
交 際 費	20,000	10,000	10,000	慶弔・関係機関交際費
需 用 費	50,000	22,405	27,595	事務関係消耗品
役 務 費	180,000	161,670	18,330	会員宛通信連絡費他
事 業 費	1,401,000	1,080,981	320,019	事業関係費合計
報 償 費	50,000	20,000	30,000	講演会講師・絲海投稿謝礼等
旅 費	5,000	0	5,000	旅費
会 議 費	15,000	8,077	6,923	諸会議費用
印 刷 製 本 費	210,000	172,476	37,524	絲海・総会資料印刷費他
文 化 財 研 修 費	1,000,000	808,918	191,082	講座・史跡めぐりバスツアー他
文 化 財 愛 護 活 動 費	50,000	30,000	20,000	愛護少年団活動費の一部支援
使 用 料 ・ 賃 借 料	10,000	0	10,000	通行・駐車料
手 数 料	15,000	8,810	6,190	会費払込料金
備 品 費	10,000	0	10,000	
負 担 金	5,000	2,700	2,300	社会保険協会等会費
繰 出 金	0	0	0	資料販売特別会計へ繰出
委 託 料	30,000	30,000	0	ホームページ管理
工 事 請 負 費	1,000	0	1,000	
積 立 金	0	0	0	
予 備 費	10,382	0	10,382	
合 計	7,801,382	7,284,309	517,073	

収入済額 7,380,985円-支出済額 7,284,309円=96,676円……平成29年度へ繰越



報告第一号の3

平成28年度 資料販売特別会計決算書

収 入

(単位：円)

項 目	予算額(A)	収入済額(B)	増 減(A-B)	備 考
販 売 収 入	100,000	38,530	61,470	資料販売収入
繰 入 金	0	0	0	一般会計より繰入
繰 越 金	735,376	735,376	0	平成27年度より繰越金
雑 収 入	1,000	256	744	預金利息他
合 計	836,376	774,162	62,214	

支 出

(単位：円)

項 目	予算額(A)	支出済額(B)	増 減(A-B)	備 考
需 用 費	5,000	0	5,000	資料販売用諸費
役 務 費	5,000	250	4,750	資料送付料
印 刷 製 本 費	500,000	0	500,000	印刷等
報 償 費	100,000	0	100,000	謝礼等
繰 出 金	1,000	0	1,000	
予 備 費	225,376	0	225,376	
合 計	836,376	250	836,126	

収入済額 774,162円 - 支出済額 250円 = 773,912円……………平成29年度へ繰越

報告第二号

## 平成28年度 監査報告

平成28年度伊丹市文化財保存協会の業務と会計について関係帳簿並びに  
関係書類を厳正に監査しました結果、いずれも正確、妥当であることを確認  
致しました。

平成29年4月7日（金）

監事 田原裕子



監事 益尾宏之



## 議案第一号の1

### 平成29年度 事業計画 (案)

わが伊丹は、これまで長い歴史の中で先人達が築き上げてきたものであり、古代万葉の昔は猪名野笹原、猪名川、昆陽の大池などが名勝として詩歌にうたわれ、中世は摂津の中心として、近世は酒の町として繁栄し、文人墨客の来遊を見るなど文化の香りと文化遺産の豊かな由緒あるまちである。これら古代からのふるさとの文化財に常に関心をもち、伊丹市の文化財愛護・保存活動の中核として文化財を保護、顕彰し、次代に伝えるのが我々の使命であり責務でもある。

本年度も、文化財の保護・顕彰に努め市民が文化財に対する知識と理解を深めるために啓発活動の強化を図り、協会の充実発展に務める。

そのために、伊丹郷町館の管理・運営に携わるとともに、伊丹郷町の歴史・文化の顕彰に参画し訪れる市内外の人々に伊丹の歴史を実感してもらい、伊丹市と「ともに」「わがまち「伊丹ブランド」」による中心市街地等での賑わいや活力を全国に発信する一翼を担ってまいりたい。あわせて伊丹市文化財愛護少年団活動の一部支援に努めるとともに、伊丹ロマン事業の取り組みのなかで各種関係団体との連携を更に深め、過去から受けついだ文化遺産を未来永遠に継承し保護すべく努力する。具体的には、次の事業に重点を置き推進する。

#### 1. 文化財に関する事業

- 1) 講座の開催 ①「万葉を読む講座」(6月～9月現地講座を含む 計7回開講)  
②「古代民俗講座」(10月 計5回開講)  
③伊丹ロマン事業(文化財強調月間)
  - ・「文学碑を訪ねて～現地講座～」
  - ・「リレー講座～絲海学～」

#### 2) 文化財講演会の開催

#### 3) 史跡めぐりバスツアーの実施(11月)

#### 4) 文化財整備への協力

#### 5) 伊丹郷町館の監視・案内業務(旧岡田家住宅・旧石橋家住宅)

#### 2. 文化遺産の保護・顕彰

#### 1) 文化財パトロールの実施

#### 2) 各文化財保存団体との連携

#### 3. 組織の強化・拡充

#### 1) 機関誌「絲海第42号」の発行(6月下旬)

#### 2) 役員研修会の実施

#### 3) 伊丹市文化財保存協会ホームページの内容充実

#### 4) 会員の増強

#### 4. 伊丹市文化財愛護少年団活動の一部支援

#### 5. 各種関係団体との連携

## 議案第一号の2

## 平成29年度 一般会計予算(案)

## 収 入

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増 減(A-B)	備 考
会 費	630,000	630,000	0	特別・普通会員会費
研修活動負担金	1,000,000	1,000,000	0	講座・史跡めぐりバスツアー他
補 助 金	3,305,000	3,305,000	0	市補助金
委 託 料	2,870,000	2,835,000	35,000	旧岡田家住宅等監視・案内業務委託料
寄 付 金	1,000	1,000	0	
繰 入 金	1,000	1,000	0	
繰 越 金	96,676	28,382	68,294	平成28年度より繰越金
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息
合 計	7,904,676	7,801,382	103,294	

## 支 出

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増 減 (A-B)	備 考
事 務 費	6,455,000	6,390,000	65,000	事務関係費合計
報 酬	5,320,000	5,285,000	35,000	職員報酬等
厚 生 費	855,000	855,000	0	厚生費事業主負担保険料
交 際 費	20,000	20,000	0	慶弔・関係団体交際費
需 用 費	60,000	50,000	10,000	事務関係消耗品
役 務 費	200,000	180,000	20,000	会員宛通信費、インターネット通信費他
事 業 費	1,421,000	1,401,000	20,000	事業関係費合計
報 償 費	50,000	50,000	0	講演講師・「絲海」投稿謝礼等
旅 費	5,000	5,000	0	旅費
会 議 費	15,000	15,000	0	諸会議費用
印 刷 製 本 費	230,000	210,000	20,000	「絲海」「総会」「研修資料」印刷費他
文化財研修費	1,000,000	1,000,000	0	講座・史跡めぐりバスツアー他
文化財愛護活動費	50,000	50,000	0	伊丹市文化財愛護少年団 活動費の一部支援
使用料・賃借料	10,000	10,000	0	通行・駐車料
手 数 料	15,000	15,000	0	郵便払込手数料(会費)
備 品 費	10,000	10,000	0	電話機・パソコン等
負 担 金	5,000	5,000	0	社会保険協会等会費
繰 出 金	0	0	0	資料販売特別会計へ繰出
委 託 料	30,000	30,000	0	ホームページ年間管理委託他
工 事 請 負 費	1,000	1,000	0	
積 立 金	0	0	0	
予 備 費	28,676	10,382	18,294	
合 計	7,904,676	7,801,382	103,294	

## 議案第一号の3

## 平成29年度 資料販売特別会計予算(案)

## 収 入

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増 減(A-B)	備 考
販 売 収 入	100,000	100,000	0	資料販売収入
繰 入 金	0	0	0	一般会計より繰入
繰 越 金	773,912	735,376	38,536	平成28年度より繰越金
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息
合 計	874,912	836,376	38,536	

## 支 出

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増 減(A-B)	備 考
需 用 費	5,000	5,000	0	資料販売用諸費
役 務 費	5,000	5,000	0	資料送付料
印 刷 製 本 費	500,000	500,000	0	印刷等
報 償 費	100,000	100,000	0	小冊子編集等に係る報償
繰 出 金	1,000	1,000	0	
予 備 費	263,912	225,376	38,536	
合 計	874,912	836,376	38,536	

## 第2部 記念講演会

・演題 「古代畿内に設けられた牧～為奈野牧と畦野牧を探る～」

・講師 三重大学 名誉教授（考古学）

山中 章 氏

### 〈プロフィール〉

1948年(昭和23) 京都市生まれ

京都府立洛東高等学校 卒業

広島大学 文学部 卒業

京都府向日市教育委員会を経て、1998年 三重大学教授

### [主な著書]

「日本古代都城の研究」 柏書房 1997年

「長岡京研究序説」 槇書房 2001年

「日本古代遺跡28京都(共著)」 保育社 1992年

---

MEMO

---

# 伊丹市文化財保存協会会則

## (名称)

第1条 この会は、伊丹市文化財保存協会（以下「保存協会」という。）という。

## (事務局)

第2条 保存協会の事務局は、伊丹市宮ノ前2丁目5番28号 市立伊丹郷町館内におく。

## (目的)

第3条 保存協会は、伊丹市内に存する文化財の保護並びにこれに関する史実の研究とその知識の普及をはかり、市民文化の向上に資することを目的とする。

## (事業)

第4条 保存協会は、第3条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 文化財の保護並びに顕彰
- (2) 関係資料の収集保存、調査研究
- (3) 文化財に関する講演会、展覧会等の開催及び紹介
- (4) 研究誌、案内書の発行
- (5) その他保存協会の目的達成に必要な事業

## (会員)

第5条 保存協会は、伊丹市内にある文化財等に関心のある者で、この会の趣旨に賛同する者をもって構成する。

2 会員は、年額 1口2,000円を会費として納入するものとし、年額5,000円以上の会費を納入した者を特別会員とする。

## (入会及び退会)

第6条 保存協会に、入会又は退会しようとする者は、所定の様式をもって会長に届け出るものとする。

## (総会)

第7条 総会は、毎年1回定期総会を開く。なお、必要に応じて臨時に開くことができる。

2 総会では、役員を選出、予算・決算、事業計画などを審議するものとする。

## (役員)

第8条 保存協会に次の役員を置く。

- |           |     |
|-----------|-----|
| (1) 会 長   | 1 名 |
| (2) 副 会 長 | 若干名 |
| (3) 理 事   | 若干名 |
| (4) 監 事   | 2 名 |

2 理事及び監事は、総会において選出する。

3 会長、副会長（うち1名は教育長をもって充てる。）は、理事のなかから互選する。

4 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

5 補充のため、役員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。



(役員の仕事)

第9条 会長は、保存協会を代表し、会議を招集する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

3 理事は、保存協会の業務について協議執行する。

4 監事は、保存協会の業務及び会計について監査する。

(役員会)

第10条 役員会は、理事の過半数の出席をもって成立するものとする。

2 保存協会の業務の決定は役員会において行う。

(顧問等)

第11条 保存協会には、顧問若干名を置くことができる。

(専門委員)

第12条 保存協会の事業を行う上に必要があると認めるときは専門委員を置くことができる。

(幹事)

第13条 保存協会の連絡調整をはかり、会務を処理するために幹事若干名を置くことができる。

(事務局職員)

第14条 保存協会事務局に次の職員を置く。

(1) 局 長 1 名

(2) 事 務 員 若干名

2 職員は、会長が任免する。

(会計)

第15条 保存協会の業務に必要な経費は、会員の会費及び助成金、寄付金、事業収入によってまかなう。

2 保存協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(その他)

第16条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は、役員会に諮って会長が定める。

付 則

1 この会則は昭和40年11月18日より施行する。

2 昭和44年5月22日より一部改正施行する。

3 " 49年5月29日 "

4 " 55年5月29日 "

5 " 59年6月30日 "

6 平成 6年5月27日 "

7 " 8年5月23日 "

8 " 14年4月19日 "

# 伊丹市文化財保存協会 表彰規定

## (趣旨)

第1条 この規定は、伊丹市文化財保存協会の発展、向上に寄与した市民、協会会員等を表彰することに関し、必要な事項を定めるものとする。

## (表彰の種類)

第2条 表彰の種類は、感謝状、会長特別賞とする。

## (選考基準)

第3条 被表彰者の選考は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 感謝状は、次のいずれかに該当するものに対し授与する。

ア 本会に多大な貢献をし、本会の名声を高める等、その功績が特に顕著である者及び団体。

イ 長年にわたり本会の発展、向上に貢献し、その功績が特に顕著である者及び団体。

(2) 会長特別賞は、本会に多大な貢献をし、本会の発展、向上に寄与した者及び団体。

## (推薦)

第4条 被表彰者の推薦は、本会役員が行う。

## (選考)

第5条 被表彰者の選考は、本会役員会において決定する。

## (表彰の方法)

第6条 表彰は、会長が表彰状を授与して行う。

## (表彰の期日)

第7条 随時行う。

## (委任)

第8条 この規定に定めるもののほか必要な事項は、役員会にはかり会長が別に定める。

## (付則)

この規定は、役員会の決定を受けた日から適用し、施行する。

平成20年6月25日 施行

## 伊丹市文化財保存協会

〒664-0895 伊丹市宮ノ前2丁目5番28号  
市立伊丹郷町館(旧岡田家住宅内)  
電話・FAX 072-772-8830(直通)  
ホームページ <https://itami-bunkazai.jp/>  
Eメール [office@itami-bunkazai.jp](mailto:office@itami-bunkazai.jp)